

ハーモニー

Harmony

第64号 2014年6月10日発行
日本養護教諭教育学会

Japanese Association of Yogo Teacher Education

日本養護教諭教育学会

事務局：〒448-8542

刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学養護教育講座
後藤研究室

TEL&FAX 0566-26-2491

振替口座：00880-8-86414

<http://www.yogokyoyu-kyoiku-gakkai.jp>

目次

2014年度の学会事業について……………	1
第22回学術集会（千葉）へのお誘い……………	2
第22回学術集会のご案内－第3報－……………	2
学会活動委員会の取り組みについて（報告）……………	3
特別企画「東日本大震災を経験して－被災地の今」⑥……………	4
「私の実践と研究」リレー・レポート⑮……………	5
2014年度「研究助成金研究」の経過報告……………	5

2015年度「研究助成金研究」の募集と第22回学術集会での「投稿奨励研究」の推薦について……………	6
学会誌第18巻第2号投稿原稿の募集……………	6
日本養護教諭教育学会役員選出の名簿登録の確認について（お願い）……………	7
日本養護教諭教育学会「選挙有権者」及び「被選挙権者」の名簿（案）……………	8
理事会等の活動報告……………	12
事務局より・編集後記……………	12

❖ 2014年度の学会事業について ❖

日本養護教諭教育学会理事長 三木とみ子

2014年度は学会設立22年目を迎えた。学会は事業のさらなる充実と開発を目指し、昨年10月の総会で承認された以下の事業の充実発展を期し活動を展開する。

1. 「研究助成金対象研究」及び「投稿奨励研究」

今年度も研究助成金制度及び投稿奨励研究制度を会員に周知し、研究の支援を行う。さらにその成果の学会誌への投稿を進めさらなる学術研究への啓発活動を行う。

2. 養護教諭の倫理綱領の検討

「倫理綱領検討特別委員会」を設置し、担当理事及び会員からの委員で構成し倫理綱領の作成の目的・意義及び各条文と主な内容等大枠を設定する。これを外部の学識経験者等の意見を求め、理事会で検討し、次期学術集会において中間のまとめを提案の予定である。

3. 「養護教諭の資質向上・力量形成」に係わる教育内容に関する検討

この事業は新規事業である。養護教諭が子どもの現代的健康課題に対応するために必要な資質能力及び養成機関や現職研修に求められる教育内容について検討する。また、関連して「養護」に関する学問体系の枠組について究明する。

4. 日本養護教諭教育学会における研究発表の演題区分の設定

第21回学術集会で発表し、多彩に出された意見を基に検討し、第22回学術集会に活用できるようにする。

5. 学会誌の編集及びハーモニーの発行

学会誌の年2回発刊とハーモニーの年3回発行によって会員への学会活動の広報活動の充実を図る。

学会誌への投稿、掲載については、前述の「研究助成金対象研究」及び「投稿奨励研究」の対象者が研究成果を学会誌に掲載できるようにする。

6. 第22回学術集会時のプレコングレスの企画と実施

学術集会におけるプレコングレスは新規事業である「養護教諭の資質向上・力量形成に係わる教育内容に関する検討」について、会員の今抱えている課題や意見等について意見交流し、事業推進の基礎資料を得ることを目的として取り組む。

7. 総務関係の取り組み

総務は学会の運営を担うために庶務、会計、渉外等以下の取り組みを行う。

- ・総会・理事会開催の準備と運営
- ・会員の入退会事務
- ・予算・決算の管理
- ・理事選挙の実施

特に今年度は選挙管理委員会によって役員の出作業の実施を行う。

終わりに

今年度は以上のような活動を実施する。理事、幹事、編集委員等一同、さらなる学会の発展充実を目指し努力する所存である。会員の皆様には一層のご理解とご協力を賜りたい。

第22回学術集会(千葉)へのお誘い

10月11日(土)～12日(日)

学会長 岡田加奈子(千葉大学教育学部)

会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。下記の要項の通り、千葉県千葉市で開催いたします日本養護教諭教育学会第22回学術集会のご案内をさせていただきます。

日本養護教諭教育学会第22回学術集会では、メインテーマを「グローバル化時代を迎えた今—新たなる養護実践の創造—」といたしました。国家、地域などのタテ割りを超えて、地球全体としてとらえる時代に、養護教諭も「目の前の子どもたちを見つめながら、グローバルな視点で、子どもたちのことを考える」必要性を感じております。

さらに、そのような現代、養護教諭にはどのような実践が必要とされているのでしょうか？

日々多忙化する毎日、その日その日の仕事をこなすのが精いっぱいという中、是非、現代どのような実践が求められているのか、皆様とともに議論し、考えていきたいと思っております。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第22回学術集会のご案内—第3報—

事務局長 工藤 宣子(千葉大学教育学部)

1. 期 日

2014年10月11日(土) 12時00分～

10月12日(日) 17時40分

(プレコングレス)

10月11日(土) 9時30分～11時30分)

2. 会 場

千葉大学西千葉キャンパス内 けやき会館

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生1-33

3. メインテーマ

「グローバル化時代を迎えた今—新たなる養護実践の創造—」

4. 内 容 (予定)

【10月11日(土)】 9時00分～受付

1) 学会長講演 12時00分～12時45分

2) シンポジウム I 12時50分～15時20分

「グローバル化時代の今、どう見立てるか、どう創造するか?—多職種の価値観を踏まえ、連携・協働

する学校へ—」

コーディネーター：遠藤 伸子(女子栄養大学)

鎌塚 優子(静岡大学)

3) シンポジウム II 15時30分～17時30分

「養護教諭に求められる力—養護教諭の養成と研修の未来—」

コーディネーター：池添 志乃(高知県立大学)

4) 日韓シンポジウム 15時30分～17時30分

コーディネーター：宍戸 洲美(帝京短期大学)

5) 養護教諭の倫理綱領検討特別委員会報告

17時35分～18時05分

6) 懇親会 18時10分～20時00分

【10月12日(日)】 9時00分～16時00分

1) 教育講演 9時00分～10時00分

「学校臨床の視角—その奥深さと豊かさ—」

磯邊 聡氏(千葉大学教育学部准教授)

2) 学会助成金研究報告・口演・ラウンドテーブル・

ポスター発表 10時05分～12時05分

3) ランチョンセミナー・自由集会

12時15分～13時15分

4) 学生交流会 12時15分～14時15分

5) 総会 13時20分～14時20分

6) ワークショップ 14時25分～16時00分

(1) DVD映像から学びあう保健室実践

(2) 救命救急指導者メソッド(実習含む)

(3) 校内研修に活かすケースメソッド教育

(4) 授業の達人から学ぶ—保健学習・保健指導に生かす技—

7) 映画 隣る人 16時05分～17時40分

5. 一般演題の募集

1) 口演・ポスター発表・ラウンドテーブル

2) 演題締め切り 平成26年6月30日(月) 必着

※第22回学術集会 HP からお申し込みください。

3) 抄録原稿締切 平成26年7月31日(木) 必着

6. 参加費

会員・会員外 4,000円(8月31日までの申し込み)

会員・会員外 4,500円(9月1日以降の申し込み)

学生・大学院生 2,000円(抄録集含む)

抄録集のみ 2,000円(送料込み)

懇親会 4,000円



7. その他

1) 事前講習会 6月28日(日)・8月18日(日)

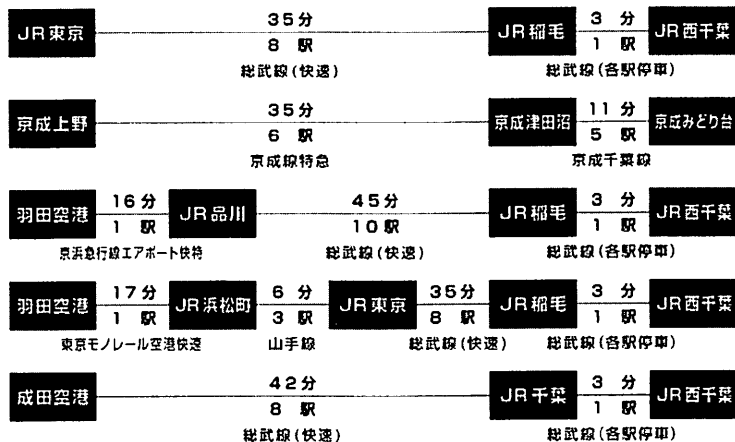
「学会発表のしかた、発表抄録原稿の書き方」講習会

2) 託児室(事前申し込みが必要です)

いずれも詳細は第22回学術集会HPをご覧ください。

第22回学術集会HP <http://www.jayte22.jp/>

千葉大学西千葉キャンパスまでの交通アクセス



学会活動委員会の
取り組みについて(報告)

後藤ひとみ(学会活動担当常任理事)

2013年度総会で承認された事業計画に基づき、4月の理事会に次のような活動計画を提示し承認されました。各活動の進捗状況をご報告します。

1. 「養護教諭の倫理綱領」に関する検討

昨年立ち上げた「養護教諭の倫理綱領検討特別委員会」において、第21回学術集会プレ kongressでのアンケート結果などをふまえた協議を重ねている。2014年度総会では倫理綱領の大枠となる内容を提案する予定であり、現在、作成目的や意義の再確認、前文の作成、本文の条文化などを行っている。

これらを6月末までにまとめ、その後、学会外の有識者に諮って、理事会にて再検討し、提案内容とする予定である。第22回学術集会(千葉)では、総会での協議に先駆けて、初日の全体企画の中で提案内容の報告機会を設けていただいた。合わせて、学会HPやハーモニーにて検討内容を公表するので、会員の皆様におかれては、忌憚のないご意見をお寄せいただきたい。

2. 「学術集会における一般発表の演題区分の提示」に関する検討

学会設立20周年を契機として、第20回学術集会から

導入した「一般発表の演題区分」の10項目について、さらなる充実に向けた課題把握のため、第21回学術集会(神戸)で学会活動委員会としての分析結果を『日本養護教諭教育学会における研究発表の演題区分に関する検討ー第20回学術集会のエントリー状況の分析からー』と題して発表した。

10項目のうち「制度」と「その他」を除く8項目にエントリーがあったが、適する項目が選択されているかを確認したところ、41演題中22題(53.7%)が不適切な項目を選択している結果となった。

特に、「健康教育」14題のうち9題(64.3%)が適する選択ではなく、それらは「養護実践」4題、「その他」3題、「保健管理」1題、「組織活動」1題に再区分された。また、「保健管理」8題のうち4題(50.0%)が適する選択ではなく、「健康教育」2題、「組織活動」1題、「保健室経営」1題に再区分され、「養護実践」3題は「制度」「養成教育」「健康教育」に各1題ずつ再区分された。これらの結果をふまえて、第22回学術集会では、10項目についての説明を付し、そこから選択してもらうことにした(同封資料の通りである)。なお、10項目はこれまでと同様とした。

- ①原論・歴史、②制度、③養成教育、④現職教育、
- ⑤養護実践、⑥保健管理、⑦健康教育、⑧組織活動、
- ⑨保健室経営、⑩その他



3. 「養護教諭の資質向上・力量形成に関わる教育内容」に関するプレコングレスの実施

本学会の会則実施細則第11条で規定されている学会活動委員会の事業の中には、「養護教諭の資質向上や力量形成に関する事項の検討」が挙げられている。これに則り、2013年度総会では今年度の新たな事業として「養護教諭の資質向上・力量形成に関わる教育内容」について検討することが認められた。

実施について4月の理事会で協議し、担当者は学会活動委員会委員の今野、入駒、後藤の3名の理事に加えて、三木理事長、総務担当の下村理事、学会誌編集担当の鈴木理事、学術担当の小林理事の7名とした。

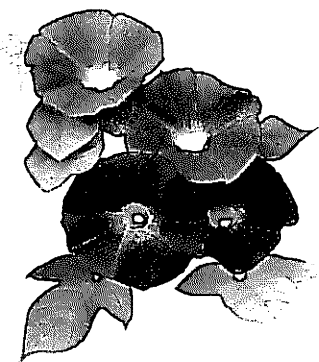
第22回学術集會でのプレコングレスの企画と運営に向けて6月15日の会合、7月21日の理事会を経て、企画案を確定する予定である。詳細は、8月以降の学会HPまたはハーモニーをご覧ください。

4. 養護教諭の専門領域に関する用語の検討

「養護教諭の専門領域に関する用語の解説集〈第二版〉」(2012.10.1発行)については、常時、学会HPなどで意見を募集している。

これまでに、解説集約500冊を会員以外の方にお届けした。まとめ買いをして養護教諭の研修に生かしている地区や学生の授業に活用している大学があり、活用のしかたは様々である。今後も、「養護教諭の専門領域に関する用語」の周知徹底を目指して、販売促進を続けていきたい(1冊500円、10冊以上は送料無料)。会員の皆様におかれまして、会員外の方への宣伝、解説集に関するご意見などをお願いしたい。

以上4項目のほか、会員の皆様のご意見をもとに必要な事項に取り組んでまいります。ご要望などがございましたら、学会事務局までお知らせ下さい。



特別企画 「東日本大震災を経験して 一被災地の今」⑥

「福島相馬地方の今」

只野喜代美 (福島県立相馬高等学校)

「大震災から3年経って、そちらの様子はいかがですか?」と原稿担当の先生から聞かれたとき、何も答えられない自分がいた。一言で話せない。私は震災後すぐに原稿を頼まれたが、その時は福島相馬の現状、気持ちを発信しなければという気持ちだった。それから3年、本当にいろいろな方からの支援をいただき、感謝の気持ちでいっぱいである。今、福島相馬から発信するならば、復興はまったく進んでいないということ、東北の中でも他県の状況と一緒にではないということ、この二つをわかってほしいという気持ちである。

私の勤務する相馬高校は以前と同様、自校での授業が行われ部活動も活発である。ところが原発に近い地区は自校での学校再開の見通しはなく、仮設校舎での学校生活を送り、生徒数激減により学校そのものの存続が危ぶまれている学校もある。プレハブ校舎での生活が3年である。故郷を奪われるとは、そこに住んでいた人たちの人生そのものがなくなってしまう、もしくは揺らいでしまうことである。生徒だけではなく、大人たちの精神的健康度が下がって当然である。

学校では「心の授業」と称して、メンタルヘルスの重要性、リラクセス法、相談方法などを教えているが、これから入学してくる生徒は、低年齢で被災した生徒である。状況を受け入れ、将来の生活に目を向けて、ということができない生徒もいるだろう。住宅のなかった生徒の中で、自分の家に住むことができた生徒はまだ一部である。保護者の仕事等の関係で離れ離れになっていた生徒も、少しずつ減ってきているが、家族全員が一緒でないという生徒もまだまだいる。だからこそ以前と同じに近い、普段通りの学校生活を送ることが重要であろう。その中で見つけることのできた小さな希望がある。それは「将来に希望を持っていますか?」と尋ねた調査項目に対して、「はい」と答える生徒の割合が毎年増えていることである。また、保健室に来たとき、地元への復興の力になりたいと話す生徒がいることである。

復興道半ばというより、まったく進んでいない福島相馬地方であるが、小さな希望を見つけて、その希望を少しずつ大きく膨らませることができるよう、養護教諭として何ができるかを考えていきたい。

「養護教諭の実践を支える研究」

植田美奈子（愛知淑徳高等学校）

私の養護教諭としての実践において、大学や大学院で学んだ研究活動が大きく役立っていることを、最近強く実感している。私は学生時代に仮説を立て、実証するために、文献研究と調査実証研究に取り組み、研究の基本を身につけた。このしみ込んだ経験が、改善しなくてはいけない生徒の健康課題にあたった時の解決する方法として活用され、現在の私の実践につながっている。

数年前、学校の休憩時間を短縮する提案があり、長年本校で勤務する養護教諭として、非常に危険な選択だと直感した。私は高等学校所属であったが、中高一貫校のため、中学生にかかる負担の大きさを考えた。所属している保健衛生部で生徒の実態と予測される事態について伝え、一定の理解を得ることはできたが、提案を覆すのは難しいという意見があり愕然とした。管理職、学校医、スクールカウンセラー、生徒など様々な立場の人からの聞き取りを行ったところ、危険という認識はあるものの、変更は難しいのではという意見であった。とにかく、養護教諭として、生徒及び教職員の安全と健康のために出来る事を考えた。論文や書籍などから、学校事故の背景となる因子に時間があることを確認した。その後、教室から移動教室までの時間をストップウォッチで測定し、着替えの時間やトイレの時間も測定した。また、休憩時間に行う教職員の仕事についても確認し、学校危機管理の文献などを基に、職員会議や学年会議で発表し続けた。そんな中、理科の実験授業後、「次は体育だから、急いで移動しなさい」と教員に声をかけられた中学1年生が廊下で転倒し、脛骨腓骨を骨折した。救急車搬送の大きな事故になってしまった。結局、その直後の職員会議で休憩時間短縮の提案は否決され、現行通りに落ち着いた。

養護教諭の直感は長年の経験に裏付けられるものであり、さらに確固たるものにするために、学会で発表される実践や研究論文の活用をすることはとても有効であった。

1年間の動きは計画(plan)・実行(do)・評価(check)・改善(action)を基に実践するのは基本で

あるが、最近、毎日 plan・do・check・action を行っていると実感し、経験と積み重ねの行為がまさに研究そのものではないかと感じている。現在は学校の健康課題の解決に保健委員会の生徒や保健衛生部の教職員と取り組み、孤軍奮闘から脱却できた。今後も新たな問題解決に生徒や教職員とともに取り組んで行きたいと思っている。そして今後は自分が苦勞して導き出した実践結果を私だけの実践から、他の人につながる実践にしていきたいと考えている。

<2014年度「研究助成金研究」の経過報告>

小・中学校における食物アレルギー児童生徒
対応のための校内支援体制の構築
—応急処置体制に対する教師の意識調査からの検討—

高田 薫（鎌倉市立植木小学校）
米嶋美智子（鳥取大学附属小学校）

この度は、学会助成金研究として本研究を採択していただき誠にありがとうございます。

エピペンは、2009年に輸入が正式承認され2011年には保険適応となりました。そのため、今では食物アレルギーなどのアナフィラキシーショックの既往歴がある等の児童生徒は、事故発生時の対応として主治医よりエピペンが処方されるようになりました。周知の通り、本来、エピペンを注射することは法的には医療行為ですが、児童自身が注射できない場合、その場に居合わせた教職員が、本人に代わって注射することは、反復継続する意図がないかぎり認められています。各々の学校で校内事故防止体制としては、役割分担がされていると思います。それを円滑に運営するには、その当事者意識を高く持ち、また事故発生時の驚きや不安などの心理的要因を取り除くことが必要であるのではないかと考えました。そこで、本研究では、校内支援体制が円滑に運営されるための小・中学校教職員を対象とした心理的要因について検討したいと思います。

具体的には(1)小・中学校の教職員を対象に半構造化面接を既に実施しました。さらに、(2)エピペン研修の実施効果について教職員を対象に自由記述質問紙で調査中です。今後は、校内の支援体制についての質問紙を作成し小・中学校の教職員を対象に調査を実施する予定です。

会員の皆様のご協力とご支援を今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

2015年度「研究助成金研究」の募集と第22回学術集会での「投稿奨励研究」の推薦について

高橋 香代（学術担当常任理事）

2015年度研究助成金対象研究の募集を開始します。研究助成金対象研究は、会員が自主的に応募する研究です。皆様には、積極的にご申請をお願いします。

2015年度の研究助成金対象研究申請の締切は、2014年9月10日（水）です。学会ホームページから申請書をダウンロードして、締切日までに学術担当理事までメールでお届けください。申請された研究は、理事会で選定基準に基づいて審議し、年次総会に提案して承認を受けます。選定作業は「研究助成金研究の選定に関する内規」（2013年度総会制定）に則って行います。採択基準は、①研究目的と研究の独自性、②研究方法が目的に対応しており、研究計画が適切であること、③期待される成果が、養護教諭の資質や力量の形成及び向上に寄与すること、④助成金の使途が適正であること、⑤研究代表者は、これまでに本助成金を取得していないもの、ならびに現職養護教諭を優先する等です。

採択件数は2題以内で、研究助成金は1件10万円、研究助成期間は1年間が原則です。研究助成金を受けた研究は、その成果をハーモニー、学術集会及び日本養護教諭教育学会誌に発表することが義務づけられていますので、ご留意ください。

また「第5回投稿奨励研究」の推薦については、第22回学術集会で実施いたします。学術集会学会長、座長、日本養護教諭教育学会役員によって、第22回学術集会で会員が発表した一般演題の中から投稿奨励研究が推薦され理事会で2題を選定し、被推薦者の許可を経てハーモニー上で発表されます。会員の皆様には、奮って演題発表をお願いします。

学会誌第18巻第2号の投稿原稿の募集 (2015年3月発刊予定)

齊藤ふくみ（編集委員会事務局）

論文の投稿は年間を通して受け付けていますが、第18巻第2号（2015年3月発刊予定）への投稿は目安として2014年9月30日（火）必着とします。投稿される際には、投稿規定（学会誌第17巻第2号114～119頁）を熟読されて、十分推敲された原稿をご投稿ください。

留意点は以下のとおりです。

- 投稿資格：本学会会員であること。
- 論文の内容・テーマ：本学会の目的（会則第2条「本学会は、養護教諭教育（養護教諭の資質や力量の形成及び向上に寄与する活動）に関する研究とその発展を目的とする。」）にかなう論文であること。
- 「研究目的・研究方法・結果・考察」が論理的に一貫していること。
- 倫理的に問題がないこと（学会誌第17巻第2号113頁の本学会倫理綱領を参照のこと）。
- 原稿の種類：論壇、総説、原著、研究報告、調査報告、実践報告、研究ノート、資料、その他です。原稿は未発表のものに限ります。
- 原稿の頁数：タイトル、抄録（原著の場合）、本文、図及び表を含めた規定枚数は学会誌第17巻第2号114頁に記載されています。原稿2枚は刷り上がり1頁に相当します。
- 論文の基準：原稿の種類により異なりますが、概ね独創性、方法妥当性、論理構成、有用性、発展性などにより判定がなされます。とりわけ、方法妥当性と論理構成はすべての種類の原稿において査定されます。

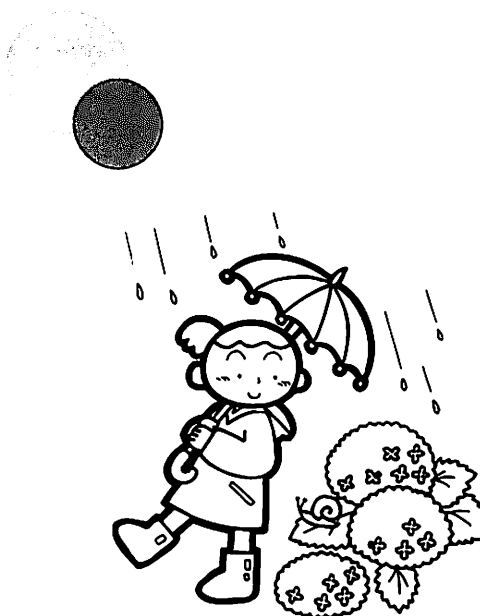
〈編集委員会事務局〉

〒310-8512 水戸市文京2丁目1番1号

茨城大学教育学部教育保健教室 齊藤ふくみ

TEL / FAX 029-228-8298（研究室直通）

e-mail: fukumi@mx.ibaraki.ac.jp



2014年6月10日

会員各位

日本養護教諭教育学会
選挙管理委員会 委員長 瀬口 久美代

日本養護教諭教育学会役員選出の名簿登録の確認について（お願い）

皆様にはご健勝のことと存じます。

さて、選挙管理委員会ではすでにハーモニー第63号にて役員を選出について告示しましたが、このたびは「選挙有権者名簿」及び「被選挙権者名簿」を公表し、会員の皆様が正規に登録されているかどうかの確認をしたいと思っております。

名簿は所属ブロックごとの五十音順で記載してあります。

つきましては、下記の要領で会員一人一人が名簿を確認し、異議や訂正がある場合には、下記の学会事務局宛に書面（FAX・E-mailを含む）で2014年7月11日（金）必着にて申し出てください。

受理したものについては、「確かに受理した」旨の返信を差し上げますので、申し出たにもかかわらず返信がない場合には、恐れ入りますが再度ご連絡ください。また、同日までに申し出がない場合には、この名簿が認められたものとしします。

- 1 選挙有権者は、2014年4月18日現在で2013年度の年会費を納入済みの会員とする。
被選挙権者（理事の有資格者）は、2014年3月31日現在、引き続き3年以上会員であったものとする。
名誉会員及び賛助会員・団体会員は、選挙権及び被選挙権ともないものとする。
- 2 会員の所属ブロックは、原則として2014年5月9日現在の学会事務局登録の勤務先または在籍校の所在地とする。または、このいずれでもない場合は自宅所在地とする。
各都道府県の所属ブロックは以下のとおりである。

北海道・東北……………北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東……………茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨
中部……………新潟、富山、石川、福井、静岡、長野、愛知、岐阜、三重
近畿……………滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫
中国・四国……………岡山、広島、鳥取、島根、山口、徳島、高知、愛媛、香川
九州……………福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

3 異議・訂正例

- (1) 氏名、所属ブロックに誤りがある。
- (2) 選挙権・被選挙権があるにもかかわらず名簿に氏名が登録されていない。
- (3) 選挙権・被選挙権がないにもかかわらず名簿に氏名が登録されている。

- 4 連絡先 〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1
愛知教育大学養護教育講座 後藤研究室
日本養護教諭教育学会事務局内 選挙管理委員会
TEL/FAX：0566-26-2491 E-mail：JAYTEjimu@yogokyoyu-kyoiku-gakkai.jp

日本養護教諭教育学会「選挙有権者」及び「被選挙権者」の名簿（案）

○所属ブロック（勤務先の所在地。勤務先がない場合は自宅所在地。）ごとの五十音順。
 ○下記の方は選挙有権者（現会員のうちで2013年度会費を4月18日までに納入した人）である。
 ○氏名の前の※は被選挙権者（2011年度からの現会員）を示す。
 ○氏名の後の数字は会員番号を示す。

<北海道・東北>

※ 赤木光子 86	※ 桑野三千代 365	※ 竹本礼子 914	※ 堀籠ちづ子 46
※ 浅野真由美 1127	※ 小菅光恵 637	※ 多田淳子 403	※ 前田洋子 1139
※ 新井猛浩 228	※ 小林央美 154	※ 只野喜代美 40	※ 松田浄恵 424
※ 一條由美 1109	※ 小山ゆかり 431	※ 築地優子 769	松村環 1257
※ 今野洋子 290	※ 佐々木奈緒 749	※ 千田雅子 417	※ 松本宏子 1155
※ 入駒一美 384	※ 佐々木美枝子 173	※ 津村直子 312	※ 丸岡里香 706
※ 岩田礼子 990	※ 笹原和子 674	出戸奈津子 1317	※ 三上純子 437
植本和歌子 1248	※ 佐藤朱美 1295	※ 照井沙彩 949	※ 宮尾美智子 1090
※ 遠藤巴子 192	※ 佐藤倫子 901	※ 内藤裕子 976	※ 村山桃子 1130
遠藤瑠生 1220	※ 鹿野裕美 540	※ 中下玲子 386	※ 盛昭子 39
※ 及川千幸 869	※ 芝木美沙子 56	※ 中西美貴 1110	※ 森祥子 833
※ 大久保牧子 393	※ 島田和枝 694	※ 中野静香 534	※ 森山より子 1066
※ 太田和江 1069	※ 庄子幸恵 572	※ 中野原代 537	※ 山口厚子 601
※ 大場祐子 873	※ 菅澤麻子 61	※ 成田みどり 240	※ 山崎隆恵 122
※ 小笹典子 237	※ 菅原優子 1067	※ 西村奈緒美 1015	※ 山崎千秋 1128
※ 長利牧 954	※ 鈴木晃子 1014	※ 濱端美奈子 844	※ 山田玲子 836
※ 小堤立子 868	※ 住吉美保 934	※ 樋口佳奈 1030	※ 横堀良男 892
※ 葛西敦子 430	※ 関谷啓子 1193	久野真澄 1336	※ 吉田瑠美子 131
柏木明香 1356	※ 高田幸子 435	※ 菱沼ゆう 876	※ 米森敏恵 1154
※ 加藤尚子 259	※ 高橋富美子 1077	※ 福士章子 1033	※ 渡邊祐子 866
※ 金谷香子 1214	※ 高橋晃子 629	※ 福士典子 630	渡邊佳子 1331
※ 賀谷あゆみ 823	※ 高橋雅恵 1281	※ 船水郁里 528	
河井大輔 1344	田口美喜子 1328	※ 古野桂子 219	
※ 菅野由紀子 395	※ 竹浪優子 686	星貞子 1282	

<関東>

※ 青柳千春 1108	※ 小川浩子 521	※ 鈴木仁子 843	※ 平川俊功 550
※ 芦川恵美 1099	※ 小澤美奈子 1201	※ 鈴木真紀子 1297	※ 平澤規子 1163
※ 阿部真理子 849	※ 尾内雅子 1204	※ 鈴木雅子 483	※ 蛭田美咲 1068
※ 荒川雅子 426	※ 籠谷恵 1196	※ 鈴木美代子 581	※ 廣原紀恵 1105
※ 荒木田美香子 817	※ 門川由紀江 933	※ 鈴木裕子 117	※ 福島きよの 864
安西静香 1223	※ 門田美恵子 838	※ 善福正夫 1072	※ 福島静恵 1157
安西ふみ 1243	※ 門山由美子 535	高瀬初美 1357	※ 福島夕子 784
※ 井澤昌子 341	※ 金田智恵子 595	※ 高田薫 525	※ 藤田徹子 845
※ 石井浩二 270	※ 鎌田尚子 11	※ 高橋紀和子 1111	※ 藤原瑞穂 1341
石井夕貴 1350	※ 亀崎路子 775	高柳佐土美 1325	※ 舟島なをみ 975
※ 石垣久美子 1016	※ 菊地美和子 1242	※ 瀧澤裕子 1075	※ 古屋美雪 486

石橋裕子 1263	木村三喜子 1222	※竹崎登喜江 99	※星埜京子 559
※市川真知子 856	※工藤志歩 1131	※竹下智美 512	※堀田美枝子 748
※出井美智子 198	※工藤宣子 247	※竹泉ゆかり 634	※松永恵 1043
※出原嘉代子 478	※久保田美穂 708	竹村佳那子 1213	松原輝子 1285
※井手元美奈子 229	※久保千恵子 911	※田嶋八千代 427	※松本絵美 1202
稲垣尚美 1229	※郡司久子 468	※玉置美恵子 738	※丸井淑美 957
※稲垣真理 311	※剣持智恵 385	※田村千恵子 1082	※丸山範子 423
※今富久美子 391	※小口博子 626	※豊島幸子 337	※三木とみ子 235
※岩井逸子 1180	※後藤美智子 631	※留目宏美 938	※道上恵美子 549
※岩崎和子 814	※小林冽子 17	豊崎ひかり 1245	※光田雅子 658
※植田誠治 124	※齋藤いずみ 705	※鳥海洋子 492	※三森寧子 1217
※上原美子 623	※齋藤千景 882	※中川優子 31	※村木久美江 138
鶴澤京子 1352	※齋藤ふくみ 43	※中村公子 576	※村越純子 1208
薄井葉子 1327	※齋藤真佐乃 786	※中村千景 989	※森田光子 129
内山雅博 1355	※齋藤理砂子 648	※中村朋子 34	※矢野潔子 1158
※海老原真弓 1125	※坂田昭恵 20	※中村道子 590	※矢野和佳乃 699
※江部紀美子 589	※坂本由紀江 1197	※中谷啓子 974	※山城綾子 1092
※遠藤伸子 262	※佐久間浩美 1076	※成川美和 1100	※山中寿江 420
※遠藤真紀子 1184	※櫻田淳 510	※西牧真理 254	横田睦 1236
大信田真弓 1316	※佐藤麻耶子 1121	※西山悦子 1291	※横山小百合 1024
※大島夏緒里 647	※佐藤百合子 1023	※根本節子 809	※吉澤千春 746
※大谷尚子 8	※澤田敦子 650	根本由美子 1335	※吉武眞佐子 145
※大塚典子 118	※澤村文香 1002	※野田智子 726	※吉田由美 1273
※大沼久美子 711	※塩野優子 917	※畑中高子 159	※脇山美希 1107
※大庭玲菜 702	※穴戸洲美 984	※濱出陽子 1200	※渡邊真亀子 1324
※大和久清子 824	※篠崎優美 1129	林幸範 1268	渡部美智子 1332
※小笠原紀代子 9	新谷敦子 1288	原田みや子 1358	
※岡田加奈子 60	※鈴木加代子 611	※平岩恭子 774	

< 中 部 >

※秋山志津子 585	※奥村陽子 49	※島崎静子 606	※古田扶三子 673
浅井雅代 1351	※鬼淵理恵 959	※清水実奈枝 952	※古橋純子 356
※浅田知恵 740	※小尾栄子 1191	※下村淳子 132	※堀内久美子 36
浅野いずみ 1300	※柿沼いずみ 294	※杉浦菊代 319	※堀川敏子 1017
※天野利香 972	※梶岡多恵子 224	※鈴木友美 1247	※増井晃 1079
※荒井美智子 1009	加藤晃子 1231	※高橋佐和子 1104	※増田明美 860
有賀美恵子 1329	※加藤沙織 704	※高橋澄子 987	※間瀬朱美子 567
飯塚恵美 927	※加藤美智子 1210	高柳泰世 1211	※松原紀子 780
※五十嵐和子 1144	※狩野美和 226	※田崎勝成 684	※松原由貴 1000
※五十嵐利恵 923	※鎌塚優子 743	※田村恭子 878	松本康子 1244
※池田みすず 269	※亀山淳子 862	※丁子智恵子 295	※真野初美 526
※石崎トモイ 84	※河合美保 722	塚原加寿子 1287	※圓岡和子 547
※石田敦子 605	※河田史宝 281	※辻森美穂 955	丸山美貴 1294
※石田陽子 709	※神戸美絵子 13	土田満 1311	※水上洋子 715
※石原貴代 499	※北村栄子 700	※角田智恵美 851	※水谷聖子 1314
※伊豆麻子 889	城戸裕子 1343	※出川久枝 1159	※宮田幸江 776
※市川恭平 1063	※倉永小百合 1044	※戸神ふみ子 956	※村上真佐子 172

※伊藤琴恵 993	栗林祐子 1286	戸田須恵子 1249	※村瀬久美 180
伊藤美栄子 1270	※強力さとみ 1147	友松今日子 1267	村松常司 1337
稲垣杏菜 1221	児島啓子 1333	※外山恵子 181	※森井康代 1152
※岩田祥 1194	※後藤多知子 926	※永石喜代子 594	森佳世子 1238
※植田美奈子 246	※後藤ひとみ 16	中島節子 1290	※森千鶴 90
上田ゆかり 1215	※後藤真理子 900	※永田智恵子 768	安富和子 1342
※上野光博 1042	後藤宗理 1345	※中畑直美 336	矢吹三千代 1272
※牛山美奈 396	※小林きよ子 713	中林恭子 1338	山口美由紀 1259
※采女智津江 101	※小林壽子 70	中村恵子 1283	※山田恭子 982
大門志乃 1234	※小林陽子 203	※中村富美子 688	※山田浩平 1148
※大城戸香織 568	※駒田玉美 276	※成松美枝 1199	※山田小夜子 652
※大塚純子 935	※近藤充代 789	※西田麻優香 1240	※山寺智子 524
※大野志保 922	※酒井瞳 1103	長谷川真美 1307	※山本美和 603
※大野泰子 1041	坂井三代子 1265	※波多幸江 929	※山脇眞弓 346
※大原榮子 76	坂本真理子 1306	※花井典子 556	世一和子 1246
※大日方和枝 818	※佐光恵子 586	※林せつ子 238	横山美智江 1239
※岡多枝子 1054	佐々木夕貴子 1289	※林典子 433	若杉里実 1305
岡田さおり 1264	佐藤美紀 1347	※原蓉子 298	渡辺誓代 1354
岡本陽 1227	佐藤美幸 1233	※深見真弓 560	※渡辺千津子 1160
※奥野愛海 1162	※佐野悦子 719	※藤井寿美子 51	渡辺美恵 1228
※奥野元子 555	※澤田有香 865	※古田伸子 1206	渡部美佐 1269

<近畿>

秋光恵子 1301	※北口和美 383	墨谷きみ 1292	※幡中理恵 1149
※浅井千恵子 1018	※北野美波 250	※高井聡美 520	※林照子 815
※井口めぐみ 418	※北村米子 717	高田恵美子 1298	※播磨谷澄子 329
※池川典子 964	鬼頭英明 1284	※田嶋長子 1091	※平井美幸 622
※石塚智恵子 772	木下静 1312	※多田律子 26	平田まり 1279
※磯田宏子 410	※楠本久美子 116	※田中祐子 1170	※平松恵子 961
※市木美知子 553	※久保昌子 1101	※地海和美 968	※松永かおり 392
※出井梨枝 444	熊澤智美 1304	※津川絢子 495	溝渕千夏 1320
※今井佳代子 1004	※古角好美 261	※辻立世 188	※宮本文子 999
※江寄和子 485	※小西俊子 15	※徳山美智子 242	向山世璃子 1310
※大西雅美 1143	※小西直美 408	内藤紀代子 1322	邨次智恵美 1258
※大平曜子 610	※近藤文子 18	※中尾香織 322	※毛受矩子 1050
※大道乃里江 102	※桜井久恵 21	※中桐佐智子 32	望月貴博 1318
岡田雅樹 1308	※笹原喜代子 1074	※中島敦子 381	※森脇裕美子 854
※岡本啓子 470	佐藤美保 1303	中田好美 1319	※安原仁美 1003
※岡本陽子 288	※佐藤容子 252	※中村亜紀 996	※山本順子 801
※小原愛子 614	※鹿田紀子 398	中山いづみ 1321	※山本冬子 371
※加藤和代 1084	※鹿間久美子 653	※梨木昭平 1176	横島三和子 1309
※加納亜紀 861	篠田典枝 1293	西浦裕子 1334	※吉田純子 374
唐木美喜子 1296	柴田順子 1266	※西木澄江 582	吉田順子 1313
※川原慶子 469	※下村雅昭 960	※西能代 538	※米澤和代 1045
※菊池美奈子 832	※鈴木育実 1036	※丹羽法子 514	
北川末幾子 1136	※鈴木秀子 1119	※長谷川ちゆ子 171	

<中国・四国>

※ 安 藝 敦 子 730	※ 梶 原 京 子 394	※ 津 島 ひろ江 108	※ 淵 上 克 義 1062
※ 阿 部 康 子 651	※ 鎌 田 雅 史 1061	※ 寺 村 路 代 1038	※ 宮 本 嘉奈子 1353
※ 雨 宮 恵 子 1349	※ 上 村 弘 子 859	※ 中 西 美恵子 330	※ 三 村 由香里 331
※ 伊 賀 上睦見 931	※ 河 本 肇 1020	※ 中 村 雅 子 937	※ 宮 崎 久美子 697
※ 池 島 千恵子 1102	※ 神 田 良 佳 1192	※ 難 波 知 子 808	※ 宮 本 香代子 1209
※ 石 原 昌 江 4	※ 貴 志 知恵子 429	※ 西 岡 かおり 571	※ 本 岡 千 草 1225
※ 稲 田 良 子 641	※ 北 川 早百合 731	※ 西 尾 小 和 734	※ 森 田 理智代 981
※ 井 上 恵 子 419	※ 久 保 裕 子 732	※ 西 村 孝 江 1254	※ 森 眞由美 971
※ 井 上 睦 美 925	※ 黒 木 清 美 1012	※ 野 宗 万 喜 942	※ 門 田 新一郎 745
※ 岩 佐 幸 恵 551	※ 郷 木 義 子 151	※ 野々上 敬 子 983	※ 薬師神 裕 子 1085
※ 岩 見 千 景 1275	※ 小 山 和 栄 149	※ 乗 松 恵理子 735	※ 柳 谷 貴 子 747
※ 上 田 公 子 924	※ 沢 田 美代子 1078	※ 畑 さゆり 1252	※ 山 内 愛 1339
※ 上 野 芳 子 1251	※ 澤 田 良 子 794	※ 原 田 定 子 1070	※ 山 崎 早 苗 245
※ 梅 田 弘 子 380	※ 白 井 眞由美 1277	※ 原 ひろみ 1255	※ 山 崎 やよい 1112
※ 岡 崎 由美子 928	※ 新 開 美和子 884	※ 平 田 奈奈美 1271	※ 山 田 景 子 1299
※ 岡 田 久 子 1021	※ 鈴 木 薫 349	※ 藤 澤 伸 子 736	※ 山 村 保 古 1080
※ 岡 田 眞 江 695	※ 竹 内 理 恵 530	※ 藤 本 比登美 872	※ 横 山 智 子 369
※ 沖 西 紀代子 970	※ 武 田 和 子 848	※ 保 坂 小百合 1253	※ 吉 松 文 子 1274
※ 奥 田 紀久子 409	※ 橘 晴 子 733	※ 松 枝 睦 美 701	※ 吉 本 みち子 721
※ 垣 内 眞規子 943	※ 田 村 弘 子 1278	※ 松 嶋 紀 子 146	※ 米 嶋 美智子 1219
※ 笠 井 恵 美 944	※ 丹 佳 子 906	※ 松 本 雅 子 998	
※ 梶 谷 さとこ 919	※ 津 島 愛 子 1205	※ 三 浦 恵美子 723	

<九 州>

※ 荒 嶽 木綿美 1165	※ 木 村 由紀子 950	※ 田 代 明 子 414	※ 松 田 芳 子 72
※ 伊志嶺 孝 子 932	※ 香 田 由 美 350	※ 田 中 彩 1330	※ 松 葉 佳 子 671
※ 一期崎 直 美 986	※ 古 賀 由紀子 83	※ 辻 清 子 436	※ 松 藤 恵 美 359
※ 長 志のぶ 308	※ 小 柳 康 子 1022	※ 徳 橋 知 子 1230	※ 松 本 敬 子 38
※ 伊 藤 亜 紀 482	※ 近 藤 恵 640	※ 中 田 雅 子 1073	※ 馬 淵 恵美子 360
※ 上 田 千 尋 1190	※ 佐 藤 亜 古 687	※ 西 川 優 子 899	※ 満 田 タツエ 415
※ 後 迫 貴利子 827	※ 佐 藤 伸 子 1235	※ 西 丸 月 美 1037	※ 三 並 めぐる 1005
※ 内 田 郁 美 810	※ 柴 崎 卓巳子 266	※ 橋 口 文 香 1326	※ 六角屋 久美子 1216
※ 大 家 さとみ 639	※ 島 崎 由香利 907	※ 橋 本 節 子 608	※ 森 川 美奈子 1007
※ 沖 田 直 子 566	※ 清 水 美夏子 1348	※ 林 田 千賀子 565	※ 山 下 優 子 1256
※ 小 野 眞梨恵 1315	※ 瀬 口 久美代 598	※ 廣 田 幸 恵 828	※ 山 梨 八重子 1008
※ 河 塚 揚 子 1132	※ 園 田 和佳菜 1302	※ 福 富 由 美 693	※ 吉 井 奈緒美 879
※ 神 田 奈津子 1346	※ 高 倉 実 239	※ 本 田 優 子 310	※ 吉 田 あや子 200
※ 喜久川 美 沢 1094	※ 高 野 さやか 677	※ 松 崎 美 枝 1340	※ 和 氣 則 江 358

理事会等の活動報告

下村 淳子（総務担当常任理事）

2013年度中に開催した理事会・編集委員会（含む小委員会）の議事内容は次の通りです。

☆理事会

1. 2013年度第1回
日 時：2013年4月14日（日）
場 所：女子栄養大学駒込校舎（東京）
内 容：2013年度理事会体制・役割分担の確認、2013年度事業計画、第21回学術集会進捗状況等
2. 2013年度第2回
日 時：2013年8月4日（日）
場 所：キャンパス・イノベーションセンター（東京）
内 容：2013年度総会の議案の確認、2012年度決算・2013年度予算案、第21回学術集会準備状況等
3. 2013年度第3回
日 時：2013年10月11日（金）
場 所：シーサイドホテル舞子ビラ（神戸）
内 容：2013年度総会の運営及び議案の確認、研究助成金対象研究の採択、プレコングレスの役割分担等
4. 2013年度第4回
日 時：2014年1月13日（月／祝）
場 所：女子栄養大学駒込キャンパス
内 容：2013年度事業の総括、2014年度事業の計画第21回学術集会の総括と第22回学術集会への申し送り等

☆編集委員会

1. 2013年度第1回
日 時：2013年4月7日（日）
場 所：キャンパス・イノベーションセンター（東京）
内 容：2013年度編集委員会体制の確認、学会誌第17巻の企画、査読要領の検討、ハーモニー第61号の企画等
2. 2013年度第2回
日 時：2013年7月13日（土）
場 所：キャンパス・イノベーションセンター（東京）
内 容：学会誌第17巻第1号の掲載原稿について、ハーモニー第62号の企画等
3. 2013年度第3回
日 時：2013年10月11日（金）

場 所：シーサイドホテル舞子ビラ（神戸）

内 容：学会誌第17巻第1号編集報告、第17巻第2号編集計画、ハーモニー第63号の企画等

4. 2013年度第4回
日 時：2013年1月12日（日）
場 所：港勤労福祉センター（東京）
内 容：学会誌第17巻第2号の掲載原稿について等

◇その他、編集・校正作業のため編集小委員会を7回開催しました。開催日と会場は以下のとおりです。

2013年8月3日（土）（神戸）、2013年9月4日（水）、2013年9月27日（金）、2014年2月2日（日）、2014年2月23日（日）（以上、東京）、2014年3月7日（金）（茨城）、3月15日（土）（神奈川）

<お知らせ>

2013年度総会の際、会員より「理事会での審議事項を公開して欲しい」との要望がありました。理事会でも「会員の皆様に理事会での審議事項を知っていただくことは重要なこと」として、2014年度の理事会より「理事会報告」を掲載することになりました。次号より、理事会での審議事項について、簡単にご報告させていただきます。

事務局より

圓岡 和子（事務局長）

今年度も昨年度に引き続き事務局を運営してまいります。どうぞよろしくお願いたします。今年度は選挙もあります。新年度になり、勤務先等変わられた方は、すみやかに事務局までメールかFAXで変更届を提出してください。

本会が発行しております「養護教諭の専門領域に関する用語の解説集<第二版>」を引き続き有料（1冊500円）でお譲りしています。10冊以上ご注文された場合には送料無料でお送りいたします。ご友人にもどうぞおすすめください。その他何かお気づきの点がありましたら、事務局までお知らせください。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

事務局

Tel/fax 0566-26-2491

E-mail JAYTEjimu@yogokyoyu-kyoiku-gakkai.jp

編 集 後 記

会員の皆様には日ごろから原稿執筆などご協力を賜っており感謝申し上げます。今後も会員の皆様にお声をかけます際は、どうぞよろしくお願いたします。

（古賀）